

<p>お引渡し</p> <p>完成</p> <p>木工事 仕上工事</p> <p>上棟</p> <p>着工 基礎工事</p> <p>地鎮祭</p> <p>設計</p>	<p>お引渡し</p> <p>WB工法・長期優良 横浜市 O様邸</p>  <p>O様邸はお引渡しでした。早速ボルダリングで遊んで頂いたり、楽しいお引渡しとなりました。今後もお家の事で何かあればお気軽にご相談下さい。</p>	<p>施工中</p> <p>SE構法 葉山町 Y様邸</p>  <p>Y様邸は基礎工事が始まっています。基礎は地味ながら家を支える大事な部分です。チェックを重ねて丁寧な施工に努めてまいります。</p>	
<p>施工中</p> <p>SE構法・長期優良 鎌倉市 T様邸</p>  <p>T様邸は基礎工事が始まりました。配筋などは強度において欠かせない部分です。図面通りの施工か、検査機関に依頼し厳正なチェックを行います。</p>	<p>設計中</p> <p>WB工法・長期優良 藤沢市 C様邸</p>  <p>C様邸はお客様と解体前の現場確認を行いました。並行して使用する部材など詳細の打合せを行っています。</p>	<p>設計中</p> <p>在来工法・長期優良 鎌倉市 K様邸</p>  <p>K様邸は解体前の打合せを行いました。現地で庭木なども確認させていただき、どのように施工していくかしっかりと方針を定めて工事に入ります。</p>	<p>設計中</p> <p>SE構法・長期優良 葉山町 K様邸</p>  <p>K様邸は間取りなどの詳細を詰めています。CADなどで画像を作成し、より検討しやすいよう見易化した提案に努めています。</p>

Kirigaya*Times

キリガヤ*タイムス

ご挨拶 : 夏を乗り切る住まいづくり
 スタッフ : 最近の出来事・つぶやき
 トピックス : 「住まいは健康の処方箋」海外では常識。
 断熱性能が家族の未来を守る理由
 工事状況 : 家づくり進捗
 イベント : オンライン随時受付中



Event

— イベント紹介 —

補助輪ありの土地探し「初めての土地探し」相談会

開催日時：ご希望のお日にちをご連絡ください
 場所：キリガヤ本社（完全予約制）
 定員：ひと月中先着3組様まで ※お早めにご相談ください

住んでみてから「失敗した」は絶対に避けたい。
 だけど、どう探していいか、わからない……

そんな貴方のために

- (1) 地元情報 <知らない地域、不安を解消！>
- (2) 時短 物件探し <時短 & 有用情報を手軽に！>
- (3) 現場確認 <プロの品評で買う前に安心！>

をお話をお伺いしながらご案内いたします。



— ご挨拶：夏を乗り切る住まいづくり —

こんにちは！キリガヤの市原です。

8月、いよいよ夏本番ですね。今年は特に暑い気がします。皆さん体調はいかがでしょう？日差しが強く、屋外はもちろん、室内でも熱中症のリスクがあるのがこの時期の怖いところ。実は家の中でも油断は禁物なんです。

暑さに強い住まいづくりには、断熱性能や通気性がとても大切です。昔は窓からの風通しなどを特に注視して設計していましたが(もちろんこれは今でもとても大事です)、昨今は風が通り抜けるだけでは、中々防ぎようがない熱波のような風も吹いていることから、家自体が熱をため込みにくく、室温が上がりすぎるのを抑えてくれる住まいづくりが重要性を増しています。冷房効率が高くなるので電気代の節約にもつながり、身体にもお財布にも優しいのが魅力ですね。

暑さに振り回されない家こそが、夏を乗り切るための“最強の避暑地”ではないでしょうか。



新築部長 兼 設計：市原



「住まいは健康の処方箋」海外では常識。
断熱性能が家族の未来を守る理由

こんな暑い盛りではありますが、断熱のお話をするうえで欠かせないので、少し冬の話をして下さい。

冬の朝、暖房の効いたリビングから一歩出た廊下の寒さに、思わず身がすくむ。そんな経験は、日本の冬の「当たり前」かもしれません。しかし、その「当たり前」が、実は見過ごせない健康リスクのサインだとしたらどうでしょうか？

今回は、快適さを超えて「家族の健康を守る」という視点から、住まいの断熱性能について、世界の事例と共に掘り下げてお話ししたいと思います。



■世界の常識「室温は18℃以上」が健康の最低ライン

驚くかもしれませんが、日本の住宅の断熱基準は、他の先進国に比べてまだ発展途上にあります。その背景には、住環境と健康に対する意識の大きな違いにあります。例えばイギリスの保健省（PHE）は室温が18℃を下回ると健康リスクが高まると明示し、世界保健機関（WHO）も同じ数値を最低室温として勧告しています。16℃で呼吸器疾患、12℃で心血管疾患が増えるというデータがあるためです。これらの国では「家を暖かく保つこと」はエネルギー政策ではなく公衆衛生対策として扱われます。



■断熱がもたらす、科学的に証明された健康改善効果

では、住宅の断熱性能を高めると、具体的にどのような健康上のメリットがあるのでしょうか。海外の研究では、明確な効果が報告されています。



これらの成果は個々の家庭だけでなく、社会全体の医療負担軽減にもつながる“公共投資”と言えます。ひるがえって日本では、ヒートショックによる死亡者数が交通事故死者数を上回るという深刻な事態が続いています。これは、個人の問題というより、住宅性能という社会全体の課題と言えるでしょう。

1. 血圧・心血管疾患リスクの低減

ニュージーランドの大規模調査では、断熱改修後に収縮期血圧が平均2~3 mmHg低下し、心筋梗塞や脳卒中リスクが減少しました。屋内の温度差が小さいほど血圧の急変を防げるためです。

2. 喘息・アレルギー症状の緩和

断熱強化は結露を抑え、カビ・ダニの繁殖を防ぎます。改修後に子どもの喘息発作が顕著に減り、学校欠席日数が短縮したという報告もあります。住環境の整備が子どもの健やかな成長を直接支える好例です。

3. 医療費・ストレスの削減

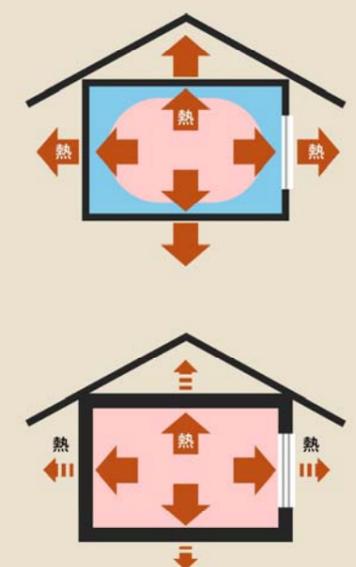
英国の低所得世帯1万戸を改修した事例では、救急受診が13%減り、公的医療費も削減されました。寒さストレスから解放されることで気分の落ち込みが減り、メンタルヘルスが改善する効果も確認されています。

■夏場でも必須の断熱

話を冬から夏に戻します。酷暑日でも室温を28℃前後に保てる高断熱住宅なら、熱中症搬送者を年間で約3割減らせると国立環境研究所は試算します。日射遮蔽と組み合わせれば冷房負荷は4割削減。床下輻射熱を防げば足元の蒸れが解消され、お子様やペットも快適です。加えて、夜間に熱がこもらない家は深部体温のリズムを整え、質の高い睡眠を促します。断熱は「冬を暖かく、夏を涼しく」する両利きの技術なのです。

■未来への最も賢明な投資は「健康な家」

2025年に省エネ基準義務化が始まりますが、これはスタートラインにすぎません。新築はもちろん既存住宅でも、窓交換、気流止め、天井・床下の断熱強化といった段階的改修で体感環境は大きく向上します。光熱費と医療費、そして将来のエネルギー価格高騰リスクまで含めて考えれば、初期投資は10年以内に回収できる例も少なくありません。気候変動で猛暑と寒波が常態化するこれからの時代、断熱性能の高さは家そのものの“基礎体力”。デザインや間取りの魅力も「一年を通して健康に過ごせる温熱環境」があつてこそ生きるものです。断熱性能への投資は、家族の未来にわたる笑顔と安心を守る、最も賢明で価値ある選択なのです。



新築部長 兼 設計：市原

Staff freetalk
スタッフフリートーク

キリガヤスタッフたちが自由に書くコーナーです。今気になってことや趣味、日々の出来事などを皆様にご紹介しています。

連日暑い日が続きます。現場に出ると汗だくになってしまつて、ボーとしてしまうこともままあります。水分補給と小まめな休憩を気を付けないといけないと、つくづく思います。どこに出かけるにも体力が伴つてこそです。また海に出て心身をリフレッシュしておきます。



営業：川添



休日の過ごし方。仕事が忙しい……なので休日はゆっくり休む。寝ているだけじゃ勿体ないので、夕焼けを見に行ったり、大船フラワーセンターに行って芝生でゴロゴロしたりして（初めて行ったんですけどね……）

みる。遠くに行かなくてもリフレッシュはできるものですね。



新築部長 兼 設計：市原

休日を利用して静岡の掛川花鳥園に行ってきました。鳥たちに餌をあげたり、手に乗ってもらえたり、まる一日楽しく遊ばせてもらいました。鳥も勿論ですが花も見所いっぱい、個人的には施設の中の蓮、特にオオニバスはすごく迫力があって大好きです。



編集：山岡